

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成18年4月28日		記入者		連絡先 3415	
部 名	建築部	課 名	住宅課		課長名 石井 敏郎	
事務事業名	市営田名塩田団地整備事業					
予算上の事務事業名	市営田名塩田団地整備事業（継続費）					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	24221		
基本目標	Ⅱ「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして					
政策名	第4章 美しいまちなみと良好な居住環境を創造します					
基本施策名	第2節 良好な住まいづくりの推進				事業開始年度	
施策名	第2施策 良質な住宅の供給				平成12年度 ▼	
2 実施根拠及び関連法令・条例等	公営住宅法、相模原市市営住宅条例、相模原市住宅基本計画					
3 個別計画の概要	概要					
計画名	相模原市住宅基本計画		本市の借地世帯の居住水準の状況や市営住宅の整備・応募状況を踏まえ、市営住宅の計画的な供給を図る。平成22年度目標管理戸数：3,044戸			
計画年次	10	年度～	22	年度		
4 事業形態の区分						
5 事業概要						
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）	住宅基本計画に基づき、自力では住宅の確保が困難な所得の低い世帯に対して、計画的な市営住宅の供給を図る。 計画戸数；250戸（第1工区55戸、第2工区77戸、第3工区66戸、第4工区52戸）			(2) 対象（誰、何） 住宅に困窮する所得の低い方		
(3) 平成17年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。	平成16年度～平成17年度の継続事業 総事業費 1,063,300千円 平成16年度 151,800千円 平成17年度 911,500千円  【参考】 平成18年度～平成19年度の継続事業 総事業費 827,000千円 平成18年度 72,000千円 平成19年度 755,000千円					
6 関連・類似事業や他市の状況	県下主要都市の市営住宅管理戸数等（平成16年4月1日現在）					
	市 名	横浜市	川崎市	横須賀市	藤沢市	相模原市
	戸 数	27,951	16,635	3,956	1,711	2,176
	世帯数	1,472,236	582,124	163,376	158,613	252,039
7 事業費の推移	〔単位：千円〕					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	
事業費	726,562	147,106	911,500	72,000	755,000	
一般財源	27,246	5,906	96,100	10,400	68,200	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	699,316	141,200	815,400	61,600	686,800	
人件費の合計	4,673	8,070	4,696	8,050	4,696	
事業コスト合計	731,235	155,176	916,196	80,050	759,696	
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (または、主たる事業名)	市営住宅整備事業			対象名称と単位	年度別応募者数当たり	
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	
事業コスト(主たる事業)	731,235	155,176	916,196	80,050	759,696	
対象数	1,600	1,196	1,308	1,308	1,308	
単位あたり経費(円)	457,022	129,746	700,456	61,200	580,807	
前年度比		0.28	5.40	0.09	9.49	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	当該事業の整備戸数	指標式と指標の説明	年度毎の（完成）整備戸数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	77.0	0.0	66.0		
目標	77.0	0.0	66.0	0.0	52.0
目標達成度（%）	100.0	#DIV/0!	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	当該事業の整備戸数	指標式と指標の説明	年度毎の（完成）整備戸数の累計		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	132.0	132.0	198.0		
目標	250.0	250.0	250.0	250.0	250.0
目標達成度（%）	52.8	52.8	79.2		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を享受している。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		当該事業は、計画どおり進捗しており、効率性・有効性等も高く、引き続き着実な整備に努めて行く。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
今後も、建設コストの削減策として、建具等の既製品使用等、設計の標準化を図る必要がある。			平成18・19年度の継続事業で、当該事業も平成19年度で完了年度となる。特になし		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			